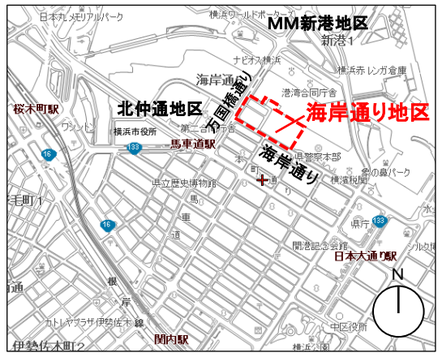
資料１－１

海岸通り地区の都市計画の考え方について

■立地上の特性

・本地区は、みなとみらい線馬車道駅に近接し、北仲通地区やみなとみらい 21 新港地区に隣接していることから、今後さらなる来街者の増加が期待されています。万国橋通りや海岸通りといった関内地区の重要な軸線にも囲まれており、北仲通地区とみなとみらい 21 新港地区を機能上・動線上結ぶ結節点として、重要な地区です。

・また、横浜市の中でも貴重なウォーターフロントに面した立地であり、16 本の大オーダーで構成されるファサードが印象的な歴史的建造物の「横浜郵船ビル」が所在していることも特性として挙げられます。



位置図

現況写真

■上位計画

・本地区は、横浜市都心臨海部再生マスタープランにおいて、「国際ビジネス」、「ホスピタリティ」、「クリエイティビティ」の三つの視点からなる都心機能の強化や、内港地区の土地利用転換による新たな賑わい拠点づくり、地区の結節点における連携強化が位置づけられています。

・さらに、横浜都心・臨海地域「都市再生緊急整備地域」においては、都心臨海部の国際競争力の更なる強化に向けた都市づくりが求められています。地域整備方針においては、横浜経済の中心を担うエリアである横浜都心・臨海地域が「人々に選ばれる都心」となるため、「みなと交流軸」の形成、「地区の結節点」における連携強化と併せ一体的に都市機能の強化などを図り、人々に選ばれるまちづくりを戦略的に展開し、港と共に発展する横浜ならではの都心を形成することが整備の目標に掲げられています。

■本市としてまちづくりで実現したい事

（都心臨海部の機能強化）

・都心臨海部の機能強化に向け、「国際ビジネス」の強化に資するグローバル企業を中心に、臨港地区内の港湾機能の維持・強化につながる業務機能を集積し、関内地区の活力をけん引する業務環境の創出を目指したいと考えます。

（歩行者ネットワークと魅力的な水辺空間づくり）

・貴重なウォーターフロントに面した立地を活かすため、景観計画で示している水際線の歩行者ネットワークの実現に向けて水際のプロムナード整備を誘導し、北仲通地区やみなとみらい 21 新港地区等の既存の歩行者ネットワークと連続させ、水際の回遊性を促進していきたいと考えます。

・また、水際のプロムナード沿いに、市民の憩える広場や賑わいを生み出す商業施設等を誘導し、水辺や通りと一体となった賑わい形成を推進することで、魅力的な内港の空間づくりを実現したいと考えます。

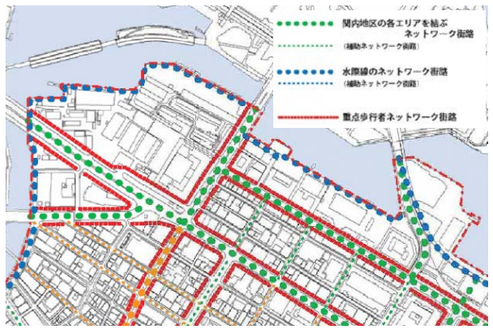
（歴史的建造物の保存・活用）

・ガス灯が整備されている海岸通り沿いは、市民からクイーンの塔として親しまれる横浜税関があり、当地区の横浜郵船ビルも含め、港町横浜の開港の歴史や文化の魅力を感じることが出来る大変重要な通りです。この横浜郵船ビルについて、積極的な保全・活用を図り、伝統と風格ある街並み景観の形成を図っていきたいと考えます。

（景観形成）

・海岸通り沿いにおいては、横浜郵船ビルと新築する建物との調和や、本町通り側からの見通し景観の確保を目指したいと考えます。

・海側においては、建物の圧迫感を軽減する工夫を施すと共に、みなとみらい 21 地区・北仲通地区の超高層の街並みとの調和を目指したいと考えます。



関内地区景観計画における「歩行者ネットワーク」

関内地区景観計画における「見通し景観」

資料１－２

海岸通り地区
景観デザイン計画検討資料

横浜市都市美対策審査会景観審査部会　　2021.9.6

目次

横浜市都市美対策審議会の審議について
計画地の位置づけ
計画概要
海岸通り地区のまちづくりの考え方
本計画におけるまちづくり
景観形成の方針
景観形成各論

横浜市都市美対策審議会の審議について

Ⅰ.都市計画段階

【目的】

■都市再生特別地区（素案）に関する概要の共有
■都市再生特別地区における壁面の位置の制限、高さの最高限度に関する内容の審議
■地区計画に定める形態意匠制限に関する内容の審議

【審議の内容】

都市計画段階①（本日）
■地区特性踏まえた、まちづくりの考え方
■上記を受けた、景観形成の方針
・建物配置・ボリューム・動線
・形態意匠の制限につながる意匠の考え方
（例示）

都市計画段階②
■形態意匠の制限（案）

Ⅱ.設計段階（Ａ地区のみ）

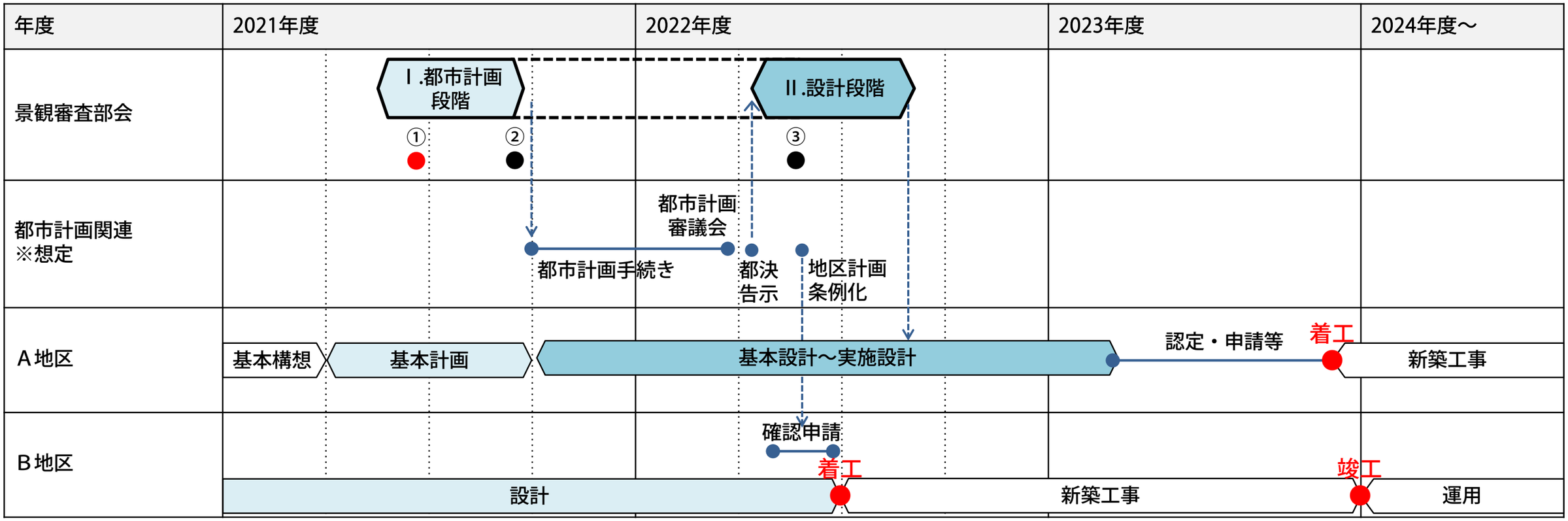
【目的】

■施設設計における地区計画の形態意匠制限の認定に関する審議

【審議の内容】

■施設の設計段階における計画
（ファサードデザイン、ランドスケープ、色彩・素材、照明・サイン等）

■施設のファサードデザインの計画
・高層部　・低層部
■ランドスケープの計画
・憩い広場
・水際線プロムナード
■施設の色彩・素材の計画
■施設の照明・サインの計画



※本資料は当地区の景観形成について横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、
計画内容は今後の関係機関協議により変更する場合がございます。

計画地の位置づけ

※基盤地図情報（国土地理院）を加工して作成

本計画地はみなとみらい線馬車道駅に近接し、「関内地区」の北側に位置している。地区が面する内水域の対岸には「新港エリア」が位置しており、万国橋通りを北上し「万国橋」を渡ると容易にアクセスが可能である。万国橋通りを南下すると「馬車道エリア」へと続き、関内地区を代表する歴史ある街路空間を味わうことが可能である。関内地区の豊富な観光資源をつなぐ位置にある「海岸通り地区」においては「北仲通北地区」との連続性を意識した海沿いの歩行者空間やビジネス機能を中心に、地域の拠点性をより一層強化する取り組みが求められる。

加えて、「海岸通り地区」内においても地域を代表する歴史的建築物の１つである「横浜郵船ビル」が存在していることから、前述の拠点機能に加え、歴史的建築物を積極的に活用した魅力的な計画が求められる。

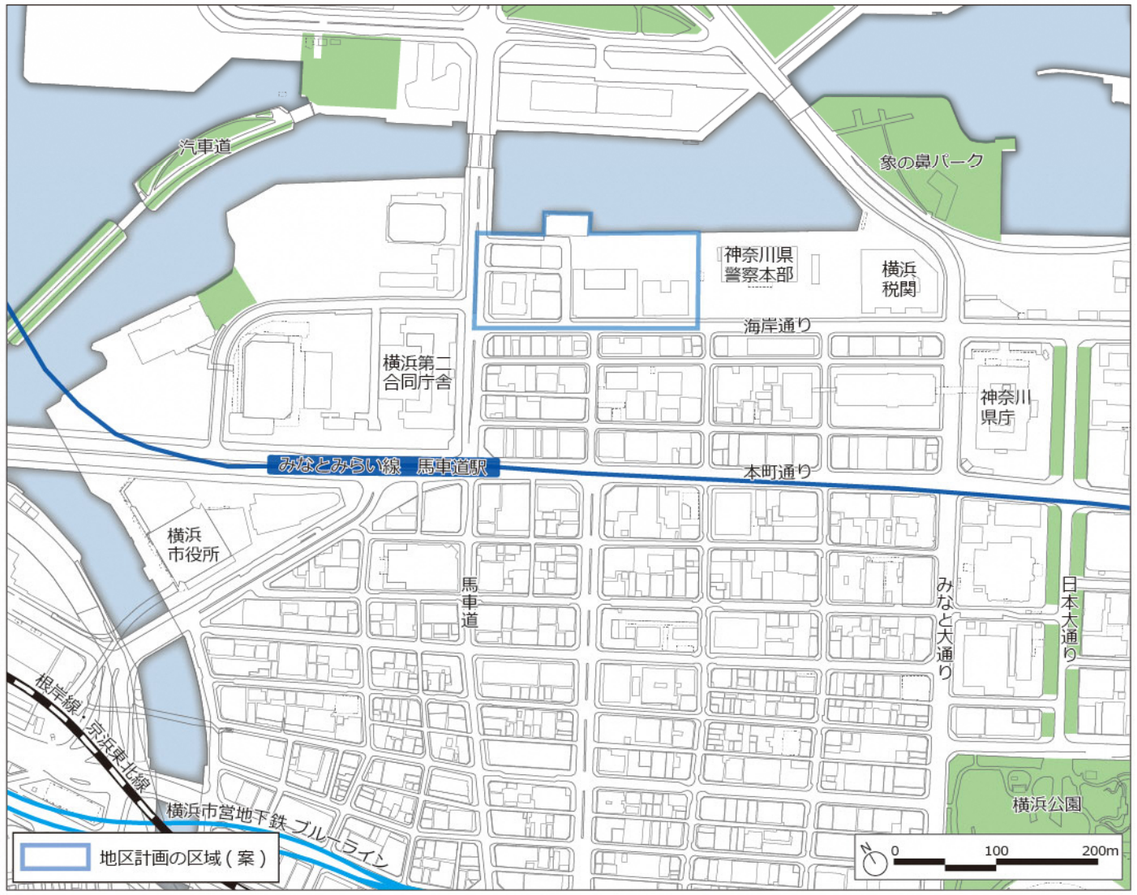
※本資料は当地区の景観形成について横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、
計画内容は今後の関係機関協議により変更する場合がございます。

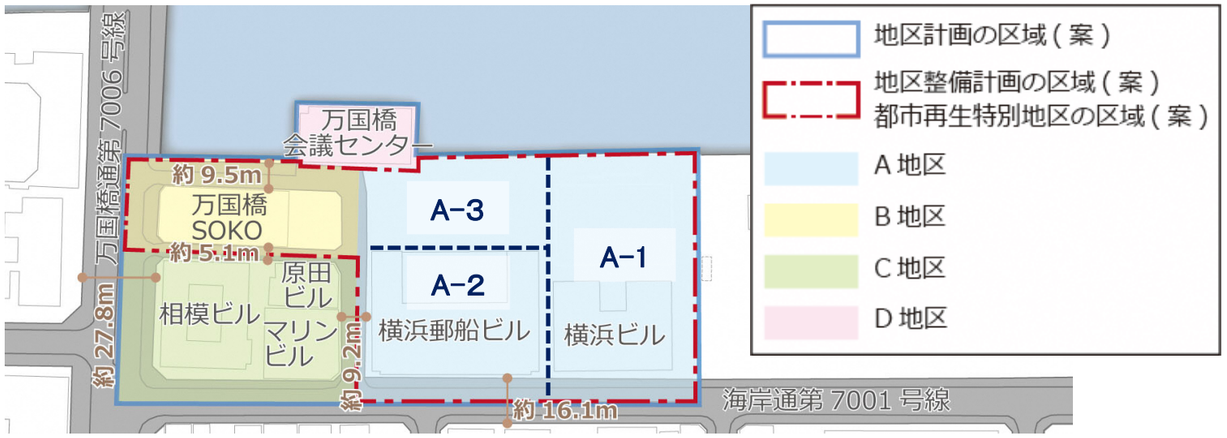
計画概要

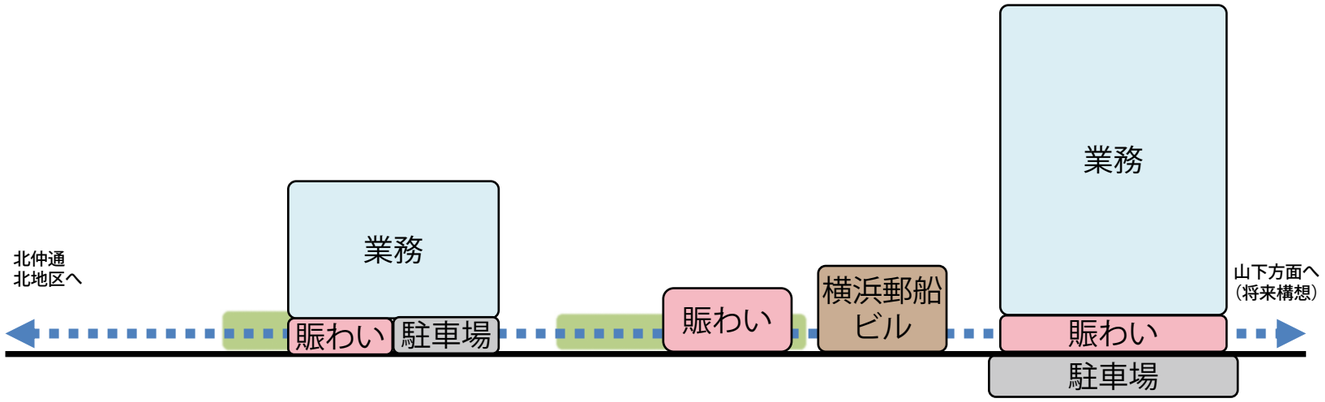
■敷地条件

住居表示	神奈川県横浜市中区海岸通３・４丁目
地域地区等	商業地域、防火地域、横浜港臨港地区（商港区）、第７種高度地区、 都市再生緊急整備地域、馬車道周辺特定地区（景観）、 海岸通り準特定地区（景観）、馬車道まちづくり協定書対象範囲
基準建蔽率	80%
基準容積率	400%
道路	万国橋通第 7006 号線（万国橋通り）、海岸通第 7001 号線（海岸通り）、 新港第 8 号線、新港第 9 号線、新港第 10 号線

■位置図 S=1/6000







	B 地区	A-3 地区	A-2 地区	A-1 地区
計画地	神奈川県横浜市中区 海岸通4丁目24番	神奈川県横浜市中区海岸通3丁目9番		
敷地面積	約1,500㎡	約1,900㎡	約3,650㎡	約5,000㎡
容積率	約500%	A街区全体　約700%		
建蔽率	約80%	約30%	約70%	約70%
建築面積	約1,200㎡	約500㎡	約2,500㎡	約3,500㎡
延床面積	約8,400㎡	約1,200㎡	約7,400㎡	約72,800㎡
建築物の階数	地上8階＋塔屋	地上2階＋塔屋	地下1階、 地上7階	地下1階、地上21階＋塔屋
建築物の最高高さ	約 44m	約18m	約26m	約99m
用途・機能	業務機能 賑わい機能	賑わい機能	賑わい機能	業務機能 賑わい機能

※基盤地図情報（国土地理院）を加工して作成

※本資料は当地区の景観形成について横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、
計画内容は今後の関係機関協議により変更する場合がございます。

海岸通り地区のまちづくりの考え方

まち・横浜郵船ビルの歴史

■海岸通りの歴史

1894(明治27)年頃の
日本郵船横浜支店と海岸通り
（日本郵船歴史博物館所蔵）

震災復興期の海岸通りと横浜税関
（「横浜税関庁舎」(横浜市中央図書館所蔵)）

・横浜郵船ビルの他、横浜税関本関庁舎、横浜貿易会館、横浜海洋会館（元大倉商事横浜出張所）、昭和ビル、老舗レストランのSCANDIAなど、個性豊かな歴史的建造物が横浜らしい通りの景観を形成

■横浜郵船ビルの歴史

竣工時の日本郵船横浜支店
（日本郵船歴史博物館所蔵）

現在の横浜郵船ビル

・1936年に和田順顕の設計により計画された当時の外観を維持し、2003年の改修を挟み現在も海岸通りの歴史的景観を支えている。

○海岸通りの歴史的景観の保全
○歴史的建造物の保全

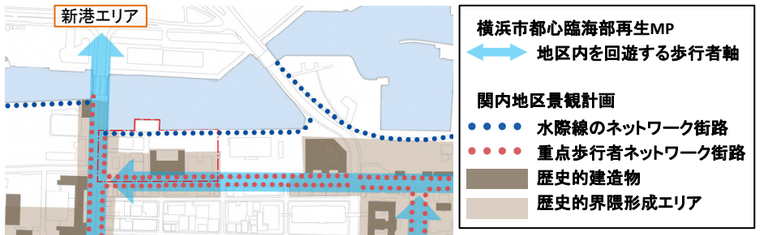
上位計画の方針

■施設整備（横浜市都心臨海部再生マスタープランより抜粋）

・次の時代の横浜の活力をけん引するビジネス・産業づくり
都心臨海部のポテンシャルを生かし、「国際ビジネス」、「ホスピタリティ」、「クリエイティビティ」の三つの視点から、都心機能の強化に取り組むことで、横浜発のイノベーションとなるビジネス創出や、創造的産業の振興など、次の時代の横浜の活力となるビジネス・産業の活性化を図ります。

・個性豊かなまちの魅力をつなぎ港と共に発展する都心づくり
横浜港は、国際コンテナ戦略港湾として、コンテナふ頭の再編強化や先進的な施設整備を進めるとともに、本牧ふ頭や南本牧ふ頭などにロジスティクス機能の集積を図り、臨海部の物流拠点の形成を進めます。

■空間整備（横浜市都心臨海部再生マスタープラン、関内地区景観計画より作成）



※基盤地図情報（国土地理院）を加工して作成

・海側へとつながる縦の軸と、海岸沿いをつなぐ横の歩行者軸の形成。
・万国橋通り、海岸通りの歩行者空間の形成、水際線の歩行者空間の形成。
・歴史的建造物を生かした歴史的界隈の形成。

○国際競争力強化に資する港湾業務機能の強化
○地区の歴史的資産を活かした歩行者ネットワークの形成

まちの可能性・現状の課題

■現在のまちの様子

【北仲通北地区海岸沿い】
関内地区側において、水際の憩い空間の整備が進展。

【KITANAKA BRICK&WHITE】
歴建保全を保全した再開発により、横浜らしい景観を継承。

【計画地海岸沿い】
水際を心地よく歩ける憩い空間が整備されていない。

【横浜郵船ビル横】
歴建の景観を活かした空間づくりがされていない。

○魅力的な水際空間の整備
○歴史的建造物の持つ特徴を活かした景観形成

「北仲通エリア」と「新港エリア」のつながりを強化する結節点の形成

横浜郵船ビルの保全活用

通りに顔を向けた歴史的建造物による風格ある街並みに配慮した景観形成を図る。

国際ビジネス環境・港湾業務機能の強化

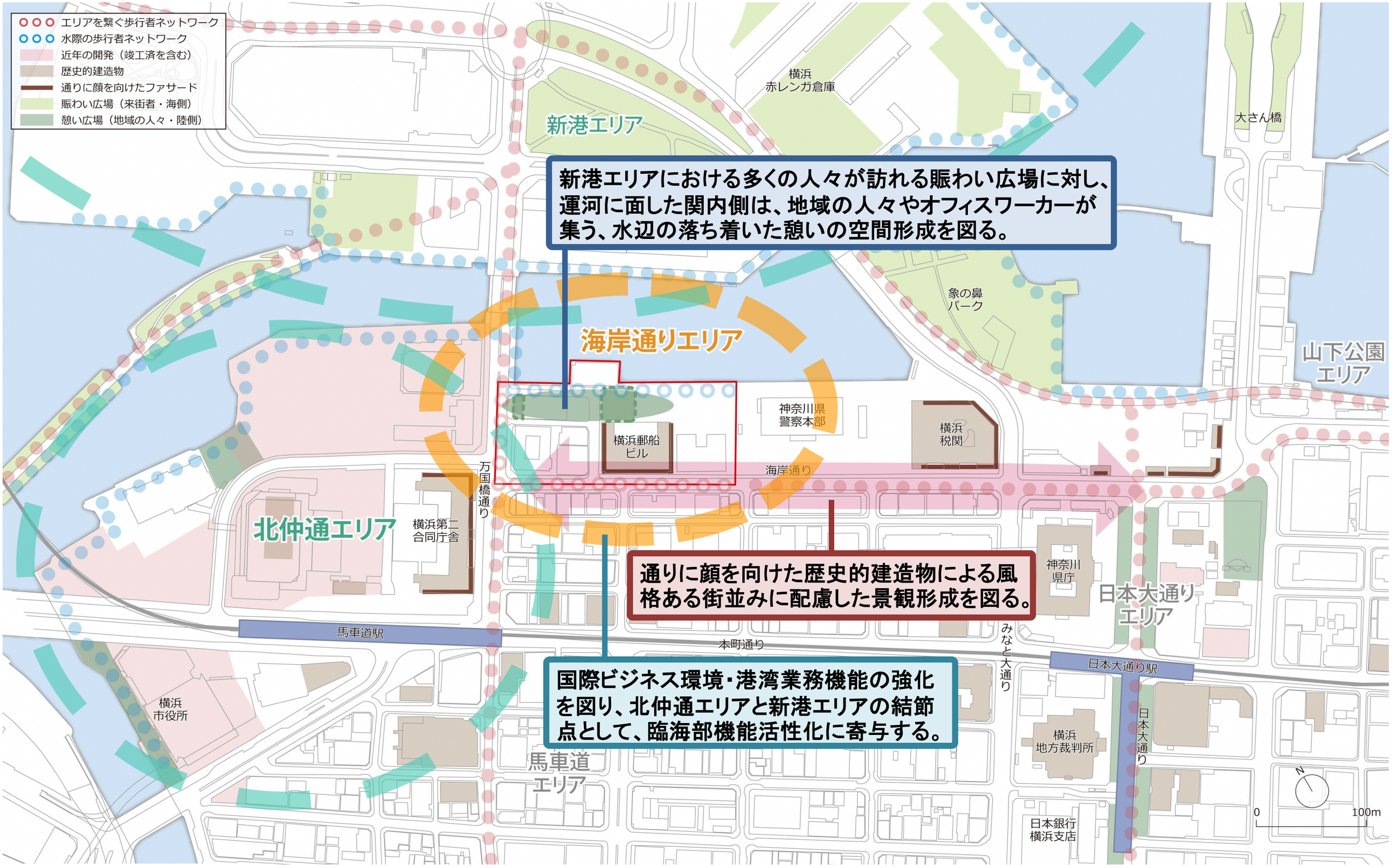
国際ビジネス環境・港湾業務機能の強化を図り、北仲通エリアと新港エリアの結節点として、臨海部機能活性化に寄与する。

水辺の回遊性・魅力向上

新港エリアにおける多くの人々が訪れる賑わい広場に対し、運河に面した関内側は、地域の人々やオフィスワーカーが集う、水辺の落ち着いた憩いの空間形成を図る。

※本資料は当地区の景観形成について横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、
計画内容は今後の関係機関協議により変更する場合がございます。

本計画におけるまちづくり



※基盤地図情報（国土地理院）を加工して作成

※本資料は当地区の景観形成について横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、
計画内容は今後の関係機関協議により変更する場合がございます。

●海岸通り地区のまちづくりの考え方と景観形成の方針

① 横浜郵船ビルの保全・利活用

1－1　横浜郵船ビルを全館保全し歴史ある景観を継承

1－2　横浜郵船ビルの意匠を尊重したデザイン

1－3　歴史的建造物やヒューマンスケールな建物の多い関内地区側からの景観に配慮した端正な高層部

1－4　ヒューマンスケールな歴史的街並みに配慮した歩行者空間の形成

② 国際ビジネス環境・港湾業務機能の強化

2－1　北仲通エリアと新港エリアの結節点として、周辺高層建物と連なる景観を形成

2－2　港湾地区の景観の一体感に配慮した、清涼感があり、繊細な印象の高層部のデザイン

2－3　海辺のビジネス環境にふさわしい、眺望と環境性能を備えた、海側へ開かれたオフィス外装

③ 水辺の回遊性・魅力向上

3－1　水辺の活動の場をつくる広場と回遊動線の形成

3－2　海岸通り地区の一体感を生み出す水際線プロムナードの整備

3－3　歴史的街並みと海辺の空間をつなぐパサージュの形成

※本資料は当地区の景観形成について横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、
計画内容は今後の関係機関協議により変更する場合がございます。

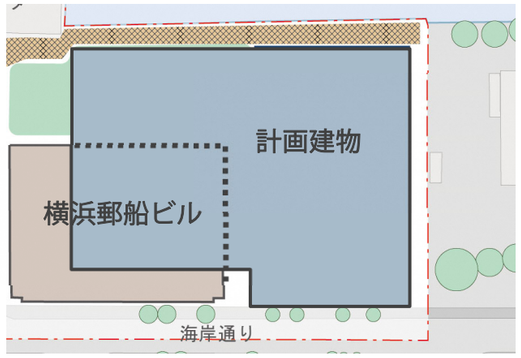
1－1．横浜郵船ビルを全館保全し歴史ある景観を継承

●景観形成に配慮した建物配置計画

【景観形成上の課題】

・歴史的建造物が部分保存となる
・見通し景観を遮る
・海側に対して、長大な壁面となる

＜敷地を最大限利用する建物計画＞



※基盤地図情報（国土地理院）を加工して作成

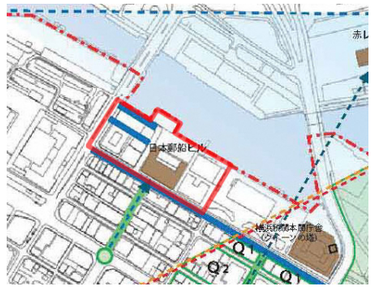
●配置計画における景観形成の考え方

① 歴史的建造物を全館保全し景観を維持

② 高層棟を東側に寄せ見通し景観を維持

③ 海岸通り及び海側からの見つけ幅を小さくし、歩行者空間の圧迫感を軽減

見通し景観



＜歴史的建造物(横浜郵船ビル)を完全保存するための配棟計画＞

※基盤地図情報（国土地理院）を加工して作成

○配置検討

1) 本町通交差点より

本町通3丁目交差点から歴建上にかぶさることなく、空が抜けるように配慮。

2) 万国橋より

新港地区と馬車道地区を繋ぐ万国橋からの景観の圧迫感を減らすボリューム。

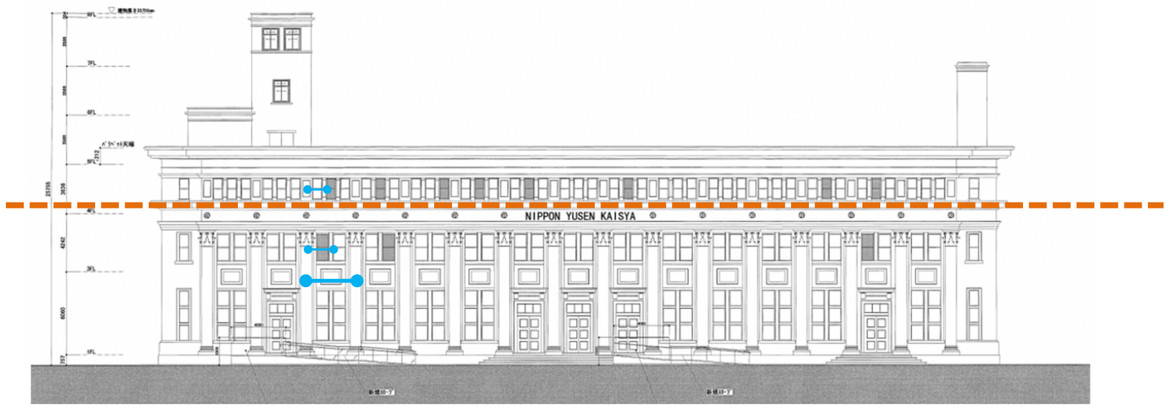
※イメージ図であり、確定した内容ではありません。設計は基本計画段階であり、建物の外観、ブロックプラン、形状については、一つのイメージとして示したものです。
今後地区計画等の規定に基づき、機能面、景観、コスト等の観点から総合的に検討し、決定していきます。

※本資料は当地区の景観形成について横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、
計画内容は今後の関係機関協議により変更する場合がございます。

1－2．横浜郵船ビルの意匠を尊重したデザイン

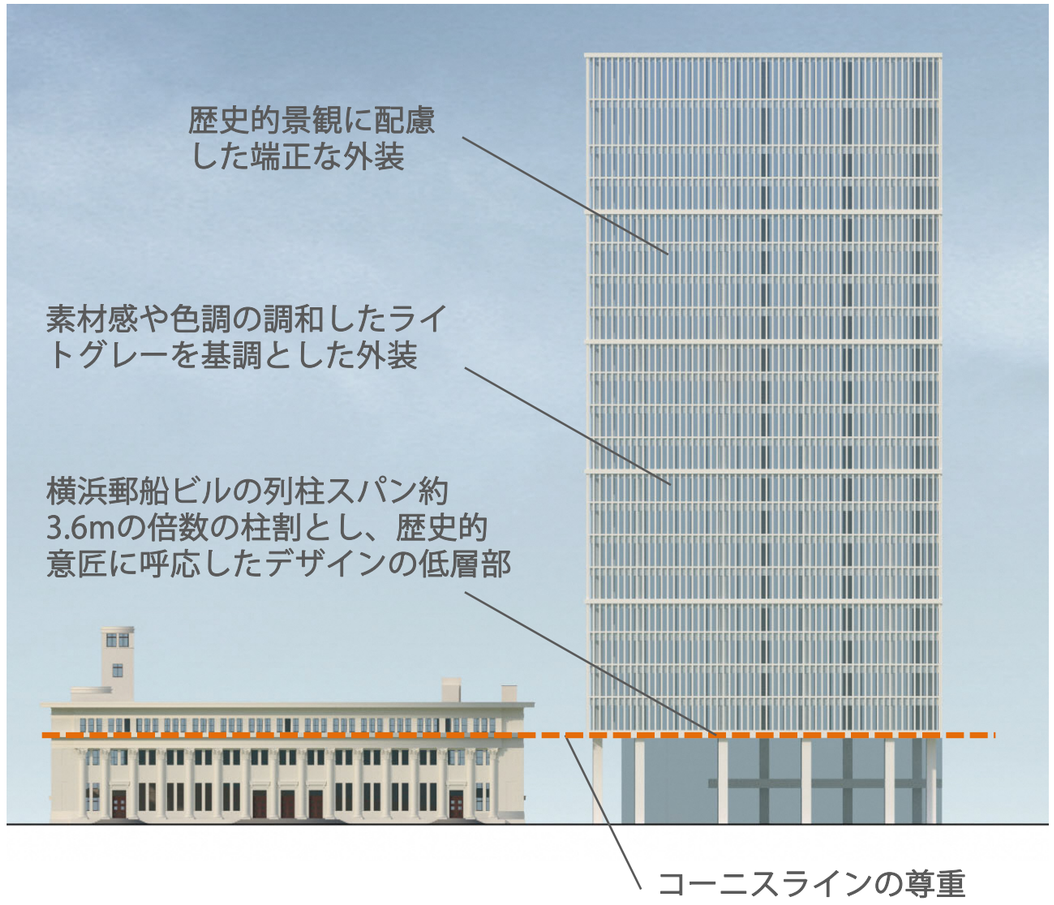
●歴史的建造物の意匠について

・桜山石で造られたといわれる歴史的建造物外壁は**ライトグレーが印象的な外観**
・**コーニスラインの上下で窓割が変化し、**遠景と近景での印象の変化を考慮したデザイン
・当時の銀行建築に類似した、歴史的建造物を印象付ける列柱ライン
・16本の列柱が約3600mmジャイアントオーダーで並ぶ歴史的建造物において、1-2F部分では1/2スパン
3F屋階部分では　1/3スパンというそれぞれジャイアントオーダーに従った割方



●歴史的建造物の意匠を尊重した景観形成の考え方

- 横浜郵船ビルのコーニスラインを尊重した、高層部と低層部の分節
- 歴史的建造物の繊細なデザインと調和した端正な外装の高層部
- 歴史的建造物の列柱の並ぶ意匠に呼応した、ピロティ部の列柱の柱割
- 歴史的建造物の素材感や色調と調和したライトグレーを基調とした外装



※イメージ図であり、確定した内容ではありません。設計は基本計画段階であり、建物の外観、ブロックプラン、形状については、一つのイメージとして示したものです。
今後地区計画等の規定に基づき、機能面、景観、コスト等の観点から総合的に検討し、決定していきます。

※本資料は当地区の景観形成について横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、
計画内容は今後の関係機関協議により変更する場合がございます。

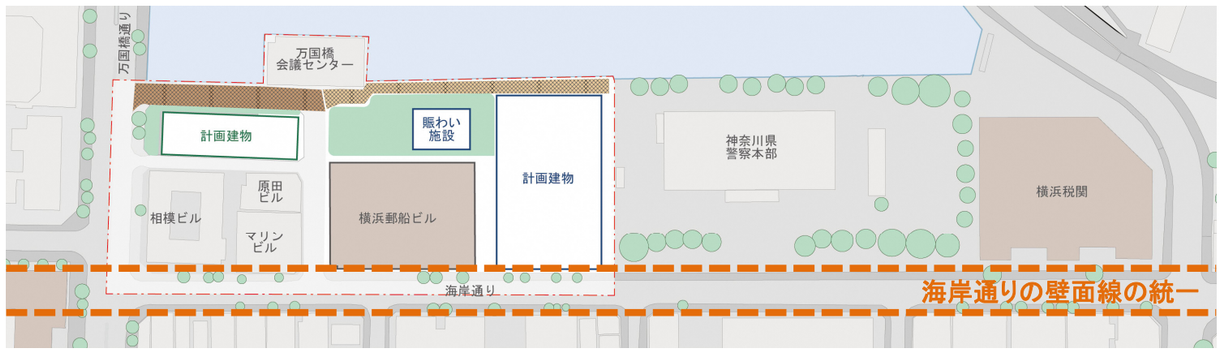
1－3．歴史的建造物やヒューマンスケールな建物の多い関内地区側からの景観に配慮した端正な高層部

- 高層部の壁面線を周囲の建物と合わせ、視点場からの街並みの連続性に配慮
- 商住共存地区のヒューマンスケールな景観に配慮し、ルーバー等により濃淡をつけ、均一で単調とならないよう工夫した高層部のデザイン

●現在の関内地区側の景観について

- 建物壁面が連続した、一体的な街並み
- 歴史的な建物も多く、落ち着いた色調の景観
- 端正なデザインの建物によるヒューマンスケールな景観

●海岸通りの街並みの連続性



※基盤地図情報（国土地理院）を加工して作成
※イメージ図であり、確定した内容ではありません。設計は基本計画段階であり、建物の外観、ブロックプラン、形状については、一つのイメージとして示したものです。
今後地区計画等の規定に基づき、機能面、景観、コスト等の観点から総合的に検討し、決定していきます。

●海岸通りの街並みの連続性を形成

1) 万国橋交差点より

万国橋通り交差点からは、連続する壁面の街並みとなっており、現状の壁面ラインに合わせた景観を形成。

2) 開港広場前より

日本大通りの開港広場前からは県警とともにまとまりある街並みを形成。

●歴史的な街並み、商住エリアからの景観に配慮した高層デザインの考え方

ヒューマンスケールな街並みに配慮し、ルーバー等で濃淡をつけた高層部のデザイン

歴史的建築物等のヒューマンスケールな街並みに配慮した表情線

※本資料は当地区の景観形成について横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、
計画内容は今後の関係機関協議により変更する場合がございます。

１－４．ヒューマンスケールな歴史的街並みに配慮した歩行者空間の形成

- 横浜郵船ビルの列柱と呼応するような、ピロティ空間により、歴史的街並みと連続する歩行者空間を形成
- 低層部の色調・素材感を歴史的建造物と調和させ、街並みの一体感を創出

歴史的建造物を印象付ける列柱ラインを抑えるコーニスラインを尊重。1,2階の柱を通して見せることで、街並みの連続性とヒューマンスケールな景観を創出。

低層部は列柱と呼応するピロティを設け、公共的な空間をつくることで豊かな歩行者空間の形成に寄与。

全体の色調を歴史的建造物のライトグレーを基調とし、低層部ピロティの外壁は歴史的建造物の外壁石と調和した石張り等を検討。

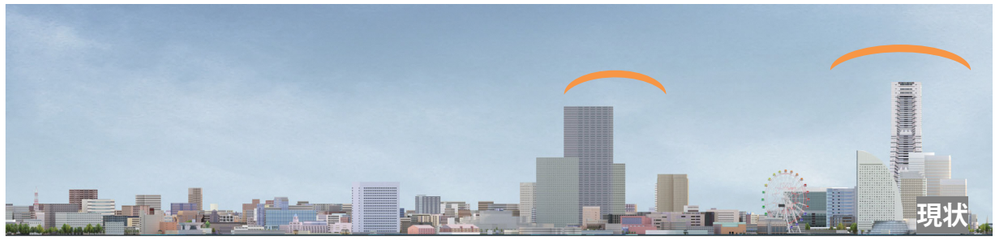
※イメージ図であり、確定した内容ではありません。設計は基本計画段階であり、建物の外観、ブロックプラン、形状については、一つのイメージとして示したものです。
今後地区計画等の規定に基づき、機能面、景観、コスト等の観点から総合的に検討し、決定していきます。

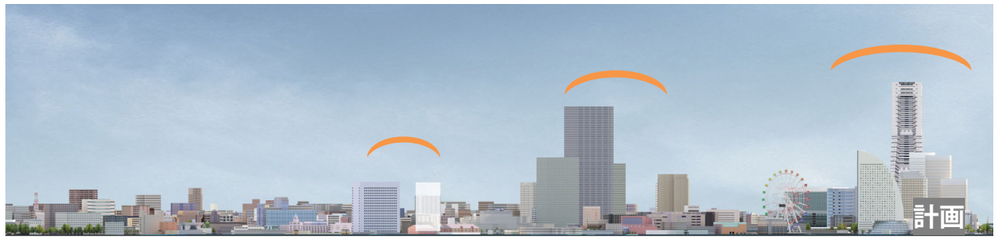
2－1．北仲通エリアと新港エリアの結節点として、周辺高層建物と連なる景観を形成

- みなとみらい地区、北仲通り地区の高層建築物と連なる海岸通り地区の群景を形成し、海からの眺望景観として一体感のある景観を形成
- 大さん橋、赤レンガパークからは、北仲通り地区、ランドマークタワーへと立体的に連続する奥行き感のある景観を形成
- 海側の見つけを狭くすることで、対岸の水際プロムナードからの眺望の抜けに配慮

●海からのパノラマ景観

県警と共にまとまった建築群を構成し、周辺建物と連なる景観を形成



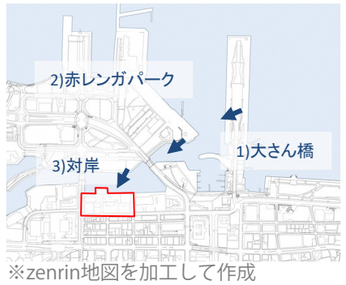


●視点場からの景観

1) 大さん橋より
県警と共に群景をつくり、北仲通り地区と一体的な景観を形成

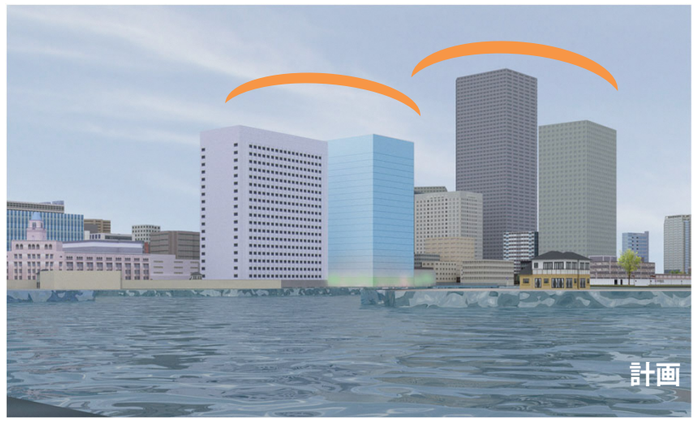
2) 赤レンガパークより
ランドマークタワーへと立体的に連続する奥行き感のある群景を形成

3) 対岸より
対岸の水際プロムナードからの眺望の抜けに配慮し、海側に対しては見附を細く、長大な壁面が連ならないよう工夫

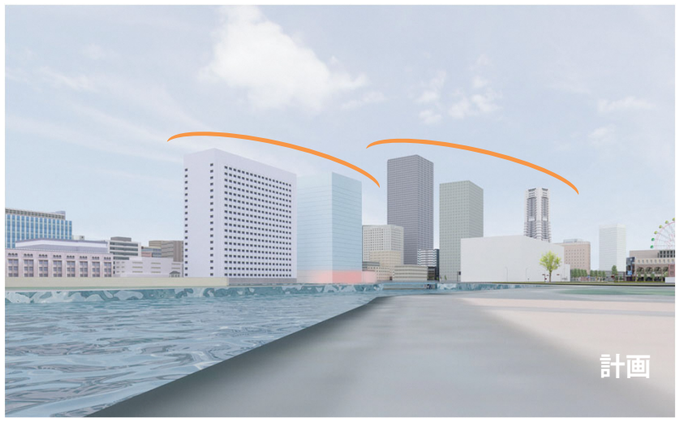


※zenrin地図を加工して作成

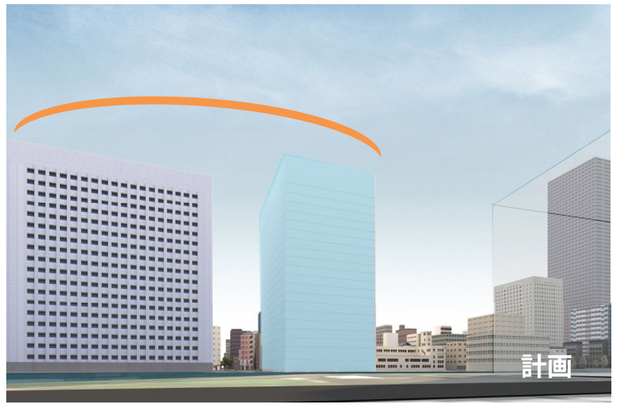
1) 大さん橋より



2) 赤レンガパークより



3) 対岸より



※本資料は当地区の景観形成について横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、
計画内容は今後の関係機関協議により変更する場合がございます。

２－２．港湾地区の景観の一体感に配慮した、清涼感があり、繊細な印象の高層部のデザイン
２－３．海辺のビジネス環境にふさわしい、眺望と環境性能を備えた、海側へ開かれたオフィス外装

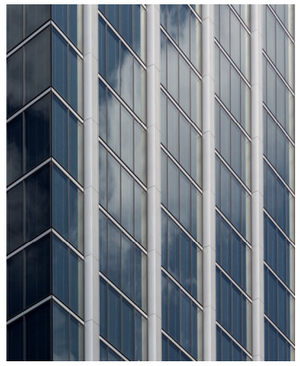
- 海側からの景観に配慮し、閉塞感の少ない、軽やかで繊細な印象の高層部デザイン
- 海側の景観と関内側の景観をゆるやかにつなぐ外観デザイン
- 海側の眺望を活かしながら、環境性能を考慮した時代に即したオフィス外装
- 港湾地区の周辺建物と調和した、ホワイトやライトグレーを基調とした、清涼感のある色調の外装

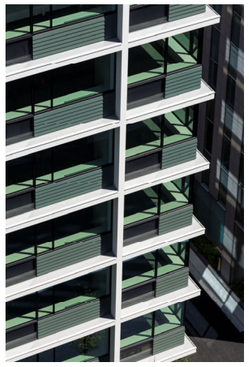
●現在の海側からの景観について

- 白・ライトグレー系の色調を中心とした清涼感のある景観
- 神奈川県警、ホテルなどの建物用途を反映したポツ窓形式の建物が並ぶ景観
- 横浜税関等の重厚な外観から、横浜市庁舎等の眺望や環境性能を考慮した透明性のある外観へと変化する、時代の流れを反映した建物が並ぶ景観

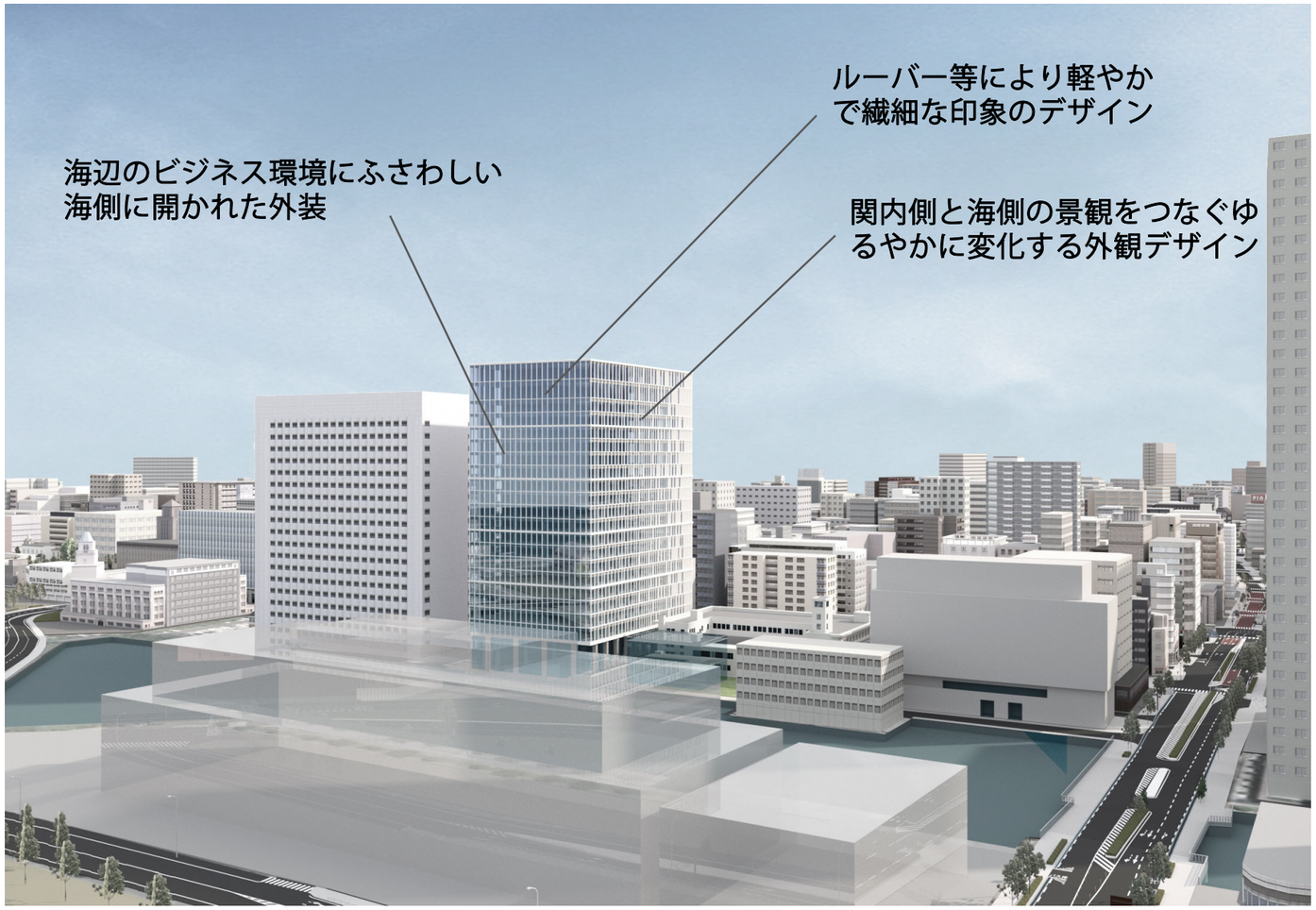
●海側からの景観に配慮した高層部のイメージ

- 海側の景観に調和した白・ライトグレー系の色調の外装
- 閉塞感の少ない、軽やかで繊細な印象の高層部デザイン
- 眺望を活かしながら、日射遮蔽等環境に配慮した外装





●海側からの景観に配慮したデザインの考え方



※イメージ図であり、確定した内容ではありません。設計は基本計画段階であり、建物の外観、ブロックプラン、形状については、一つのイメージとして示したものです。
今後地区計画等の規定に基づき、機能面、景観、コスト等の観点から総合的に検討し、決定していきます。

※本資料は当地区の景観形成について横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、計画内容は今後の関係機関協議により変更する場合がございます。

3－1．水辺の活動の場をつくる広場と回遊動線の形成

- 水際線プロムナードのたまりの空間となり、憩いと賑わいを創出する広場の整備
- 海岸通りと海辺の広場をつなぐ、歴史的景観を生かした動線の整備

●現在の水辺空間について

- 海辺に沿った動線が整備されておらず、対岸との一体感が感じられない
- たまりの空間等は整備されておらず、あまり活動は見られない
- 横浜郵船ビルの海側は、海に対して段を作る構成で、表面とは異なる外観となっている

現在の海岸線

横浜郵船ビル海側

●広場のイメージ

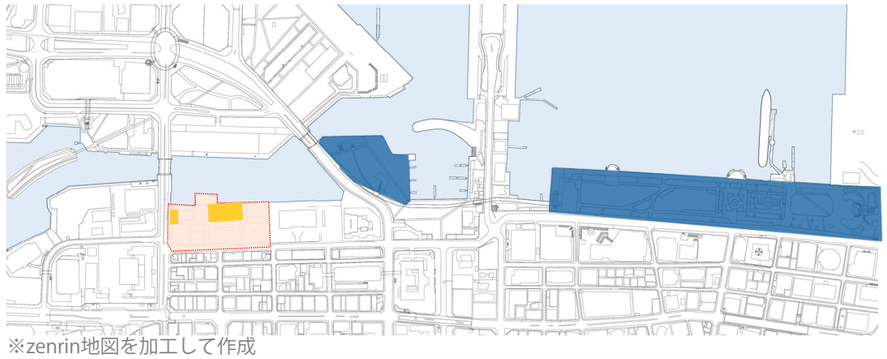
・歴史を感じられる広場

歴史的建造物と一体的に設え、適度な囲われ感のある広場空間

三菱一号館
（東京、丸の内）

●周辺の広場との差別化

周辺の大規模で開けた広場と異なる、ヒューマンスケールの落ち着いた広場を創出


※zenrin地図を加工して作成

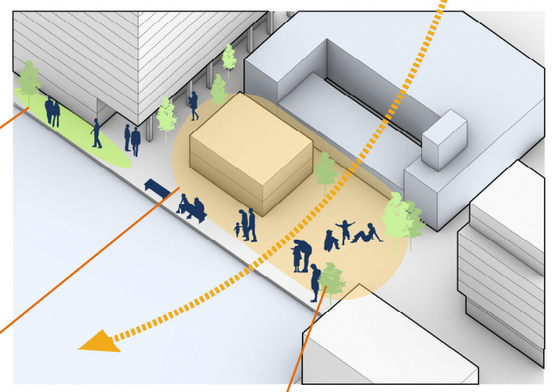
●海と歴史を感じられる多様な広場空間の整備

- 海沿いにはスケールの異なるたまりの空間を計画し、様々な活動の場を創出
- 歴史的建造物の特徴でもある塔屋部に面した広場を計画．海岸通りの歴史と海辺の魅力を感じられる空間を形成
- 歴史的建造物の海に向かって低くなっている形態を活かし、水辺につながるような空間を形成

水辺につながるような空間を形成

オフィス棟に近い部分はヒューマンスケールなたまりの空間。

賑わい施設と一体で利用可能な広場空間の形成。



歴史的建造物の塔屋に面した歴史を感じる広場。地域の広場として、子供の遊び場やキッチンカーの利用の他、イベントも可能な空間。

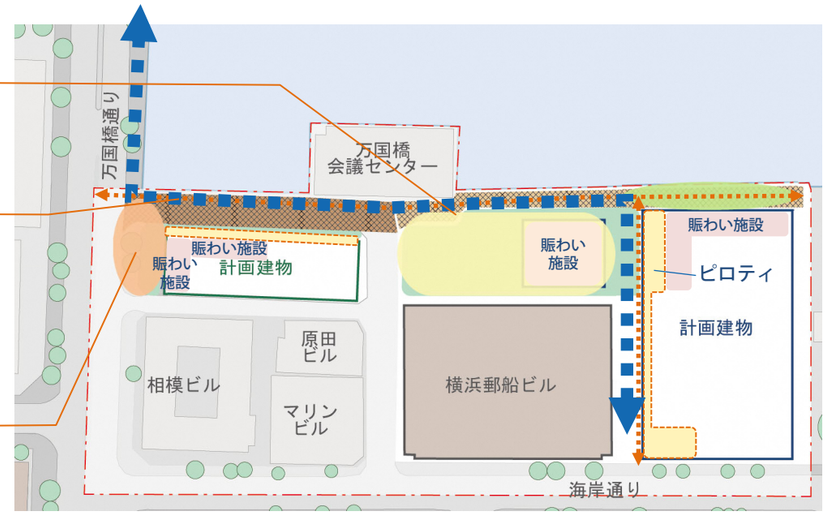
●地区全体の広場と動線の整備イメージ

- 海側に賑わい施設等を計画し、広場と一体で活動の場を形成
- それぞれの広場空間を横断し、地区の一体感を生み出す動線の整備

広場空間と連続する賑わい施設を計画し、海辺に活動を創出。

地区を横断し、広場空間をつなぐ動線を形成。

地区のゲートとなり視認性を高める広場。北側に面して店舗を設け、プロムナードへの賑わいを創出。



※基盤地図情報（国土地理院）を加工して作成

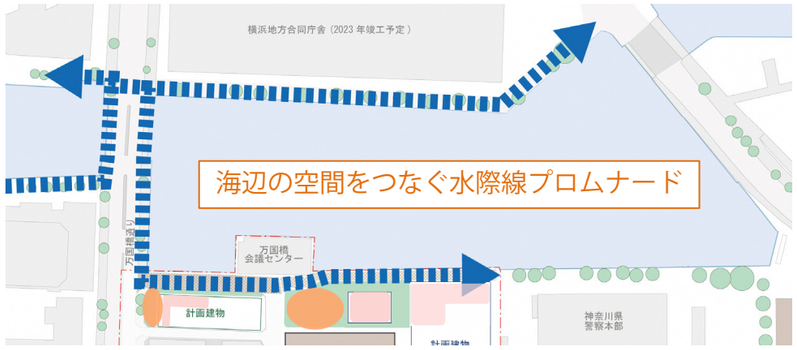
※本資料は当地区の景観形成について横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、
計画内容は今後の関係機関協議により変更する場合がございます。

３－２．海岸通り地区の一体感を生み出す水際線プロムナードの整備

- 海岸通り地区を横断し、海辺の空間をつなぐ水際線プロムナードを整備
- 地区全体で統一感のあるランドスケープデザインとし、落ち着きある親水空間を形成
- 建物内の活動が滲み出し、海辺に賑わいが生まれる開放的な外装

●水際線プロムナードの広域イメージ

- 対岸を含めた、地区全体の回遊動線の形成に寄与する、水際線プロムナードを整備
- 水辺の散策路は舗装や植栽の一体感に配慮し、地区内に連続性のある水際空間を形成。



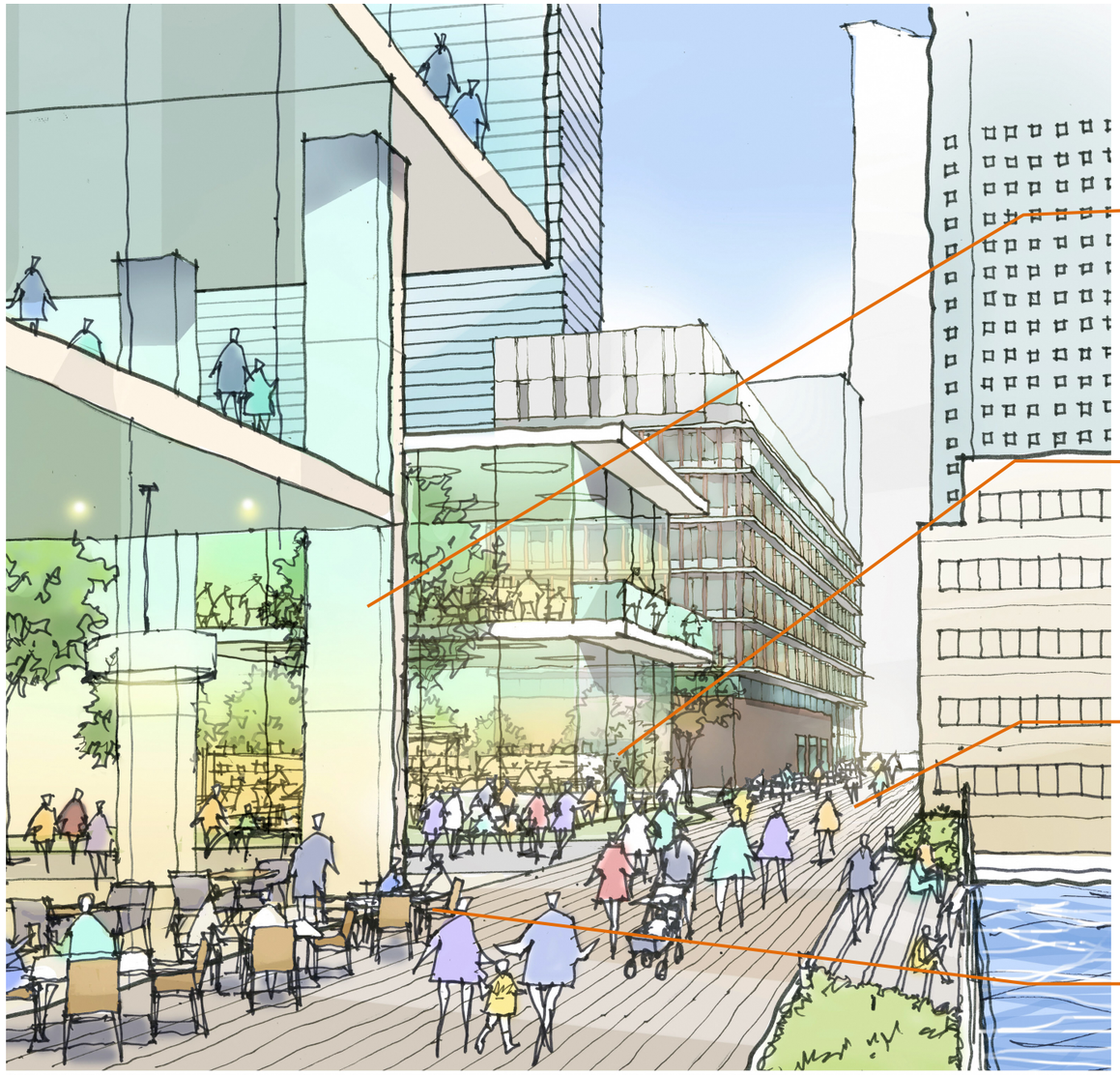
※基盤地図情報（国土地理院）を加工して作成

●水際線プロムナードのイメージ

水際に沿って大きな開口を設け、内部から海を眺める空間。テラスにファーニチャが置かれ店舗の賑わいが滲出。

横浜ハンマーヘッド(横浜市)

横浜市役所・ラクシスフロント(横浜市)



海側に店舗開口部を向けるなど、海辺の景観を生かした内部空間を創出。

広場空間は、低層建物の活動が滲み出し賑わいが感じられるよう工夫。

地区内で一体感のある舗装や植栽とすることで、連続性のある水際空間を創出。

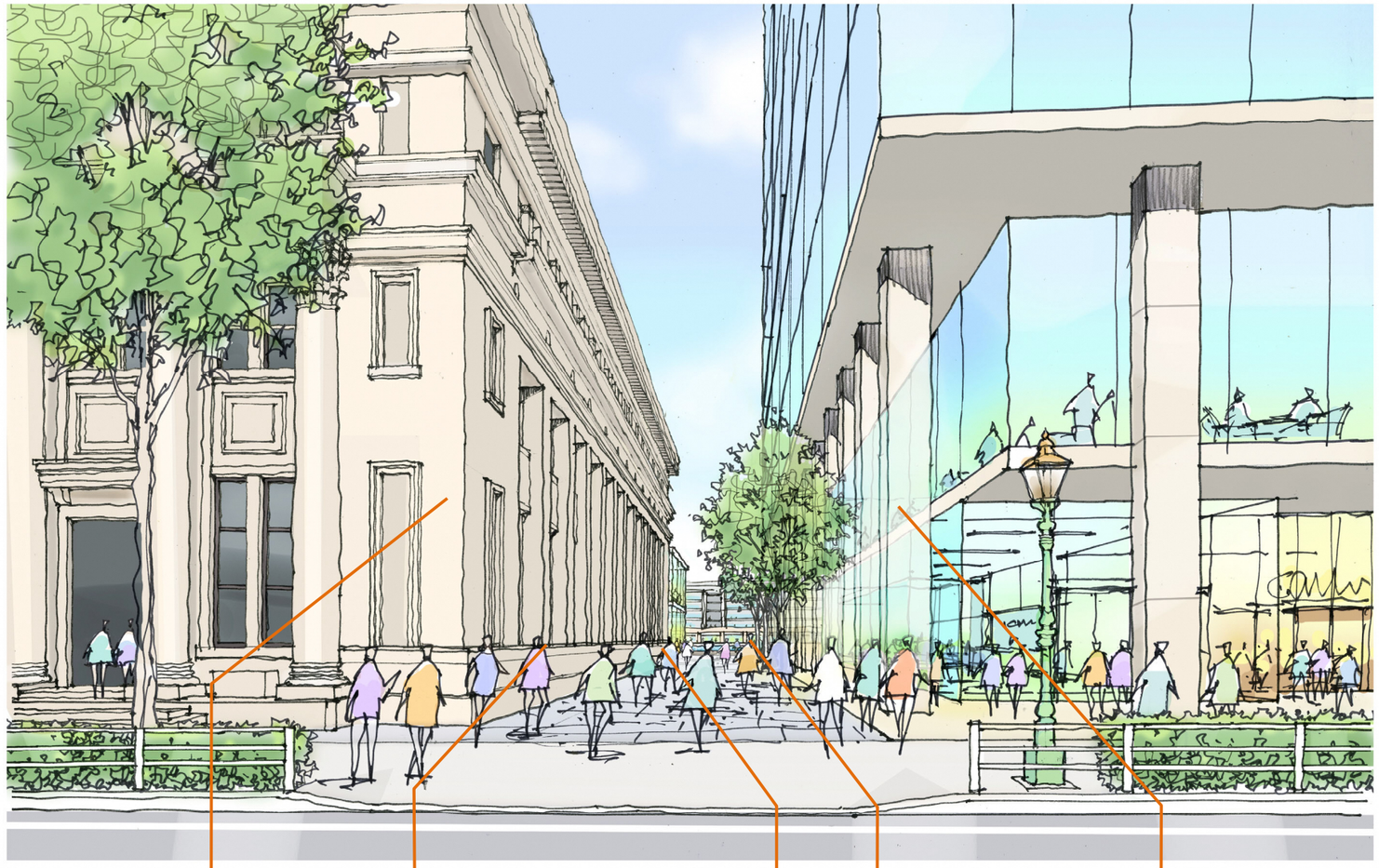
ファーニチャ等を設置し、店舗のテラス席など、水際空間に滞在し、落ち着いて過ごせる設えとする。

※イメージ図であり、確定した内容ではありません。
設計は基本計画段階であり、建物の外観、ブロックプラン、形状については、一つのイメージとして示したものです。
今後地区計画等の規定に基づき、機能面、景観、コスト等の観点から総合的に検討し、決定していきます。

※本資料は当地区の景観形成について横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、
計画内容は今後の関係機関協議により変更する場合がございます。

３－３．歴史的街並みと海辺の空間をつなぐパサージュの形成

- 海岸通りから海辺へと抜ける緑を感じられる歩行者空間の整備
- 歴史的建造物の荘厳な列柱デザインの外観に呼応した、開放的な列柱デザインのピロティ空間
- パサージュの奥に広場や店舗等を配置し、海岸通りから海側への人の流れを形成



歴史的建造物を身近に感じられる空間

海辺に広場や賑わい施設等を配置し、海側への人の流れを形成

海辺の賑わいが感じられる、海側への視線の抜けを計画

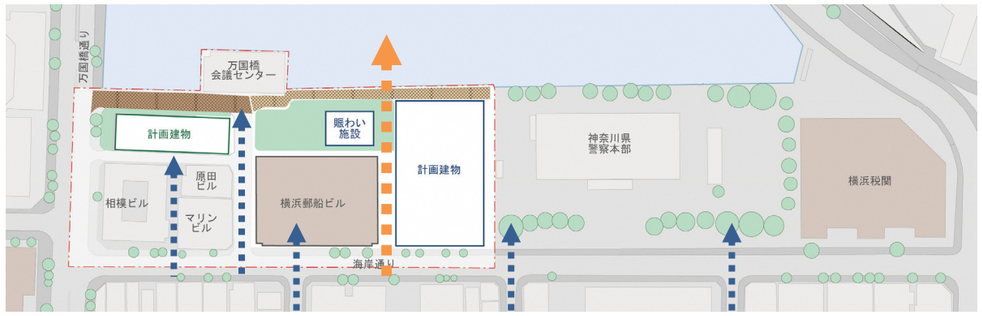
緑を取り入れるなどヒューマンスケールで落ち着いたパサージュ空間

歴史的建造物の列柱デザインに呼応したデザインのピロティ

※イメージ図であり、確定した内容ではありません。設計は基本計画段階であり、建物の外観、ブロックプラン、形状については、一つのイメージとして示したものです。今後地区計画等の規定に基づき、機能面、景観、コスト等の観点から総合的に検討し、決定していきます。

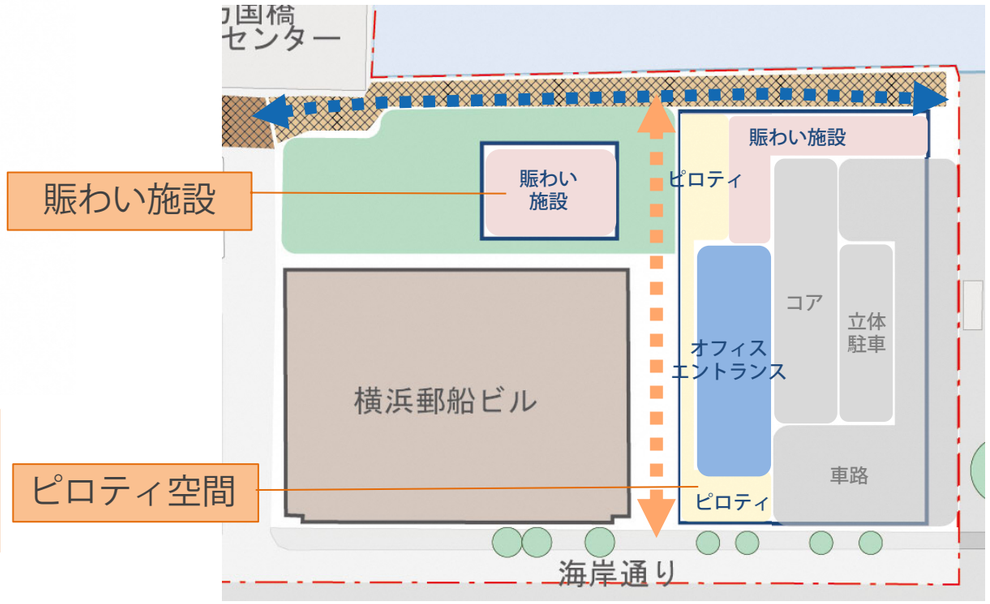
●海岸通りから水辺を感じられる、配置・外構計画としビジュアルコリドーを創出

現状、海岸通りから海辺に視線が抜け、通り抜けられる部分がない。
歴史的建造物と計画建物の間に水辺の雰囲気が見え、海岸通りと直行するビジュアルコリドーを創出。植栽等も視線の抜けを考慮し配置。



●海側へと人の流れをつくる、賑わい施設を計画

現状、海側には人の移動の目的となる施設がないため、新たに店舗等の賑わい施設を配置し海側への人の流れを創出。



※基盤地図情報（国土地理院）を加工して作成

※本資料は当地区の景観形成について横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、
計画内容は今後の関係機関協議により変更する場合がございます。